Ｒ８年度　市川中学校校内研究の概要

R8.4.15

１　研究主題

主体的・対話的な学びを通した楽しいと感じる学校づくり
～自分事として捉え、意見交流を深める道徳の実践～

２　主題設定の理由

市川中学校では、これまで文部科学省からの「学力向上拠点形成事業」、「英語教育強化地域拠点事業」の指定を受け、その期間に小集団の導入、テスト前の取組表の活用などの土台が作られてきた。その後、生き生きと意欲的に学び合う生徒の育成を目指し、学ぶ意欲や学力向上の基盤として「集団づくり」が重要であることが確認された。これまでの成果として、生徒は落ち着いた学校生活を送り、学習に向かう雰囲気が定着していると感じられる。近年は「教科担任制推進事業」の研究推進指定校として、市川小学校、市川東小学校との３校で「教科担任制」について研究を進めた。教科担任制の導入を実証し、具体的な効果や課題を示すとともに、課題解決の過程等を、県内の学校に随時発信することができた。

また、再任用の先生方も含めた教員同士が、毎日の学校生活の中でお互いの実践を公開し学び合うことを通して、指導力の向上・充実を図ってきた。これにより、教科ごとの特性や各教科領域で大切にしたい視点を踏まえた意見交流が行われ、教員一人一人の授業改善につながっている。

「やまなし道徳教育推進事業」に基づいた道徳教育研究推進校の指定を受け２年目となる今年度は、「自分事として考え議論を深める道徳授業」についてさらに研究を深めていく。昨年度の校内研で得られた、発問や対話についての学びを授業実践へとつなげたい。スクールモットー「敬愛」や、生徒会の目指すＳＤＧｓ市川中オリジナル18個目の目標「毎日を幸せと思えるように」を、教師・生徒が相互に意識し、生徒たちが「楽しい」と感じるような学校づくりに向けて、道徳の授業だけにとどまらない諸活動を通した道徳教育の推進を目指したいと考え、本主題を設定した。

３　研究目標

生徒が学校にくることが「楽しい」と感じられるような学校を目指し、主体的・対話的な学びを学校生活全体で取り組みながら、教員相互の学び合いを通して授業の質の向上を図る。また、特に道徳の授業においては、主体的・対話的な学びの実現を自分事として考えることや意見交流を通して図る。

４　研究仮説

教員相互の学び合いと道徳の授業での実践や道徳的実践活動を推進することで、学校に来ることが「楽しい」と感じながら、自他の幸せのために行動できる生徒が育つであろう。

5　研究内容および研究方法

（１）授業の質の向上

・外部講師、指導主事を招聘した研究会の実施
・授業交流を通しての教員相互の学び合い
・意見交流（ICT 活用方法、ホワイトボードなど）研修・実践
・一人一実践（授業交流）による授業力の向上

（２）多面的な生徒理解

・道徳アンケートの実施（１・３学期）と思考変容の分析
・外部講師、指導主事を招聘した研究会の実施
・web Q-U の実施と分析、教職員での情報共有

6　研究組織

全体研究会

研究推進委員（校長、教頭、教務主任、研究主任、道徳教育推進教師・学年道徳担当）

7　研究計画

回	月／日	曜	研　究　内　容
１	４／１５	水	◇全体研究会　・今年度の校内研究の概要について
２	５／１１	月	◇全体研究会 ・道徳授業における自分事につなげるための発問や対話の工夫について ・第１回道徳アンケートについて
	５月中旬		WebＱ－Ｕ　第１回実施
	６／１７ または１９		**◇第１回 授業交流【道徳強化週間】各学年での授業公開** 可能な範囲で指導主事招聘。
３	６／２４	水	◇授業交流のふりかえり・指導主事を招聘しての研修会
４	８／２１ 夏休み	金	◇全体研究会　・公開授業の指導案検討
	９月下旬		※研究推進委員会の中で指導案検討。進捗状況に応じて日程を設定。
５	１０／２９	木	**道徳授業公開【各学年１本ずつ授業を公開】**
	１１月中旬		◇第２回 授業交流（全教科）
	１１月中旬		ｗｅｂ－ＱＵ　第２回実施
６	１１／２５	水	◇全体研究会 ・授業公開のふりかえり　・「つばさ」原稿について ・Ｑ－Ｕ調査の分析について　・第２回道徳アンケートについて
７	１／２０	水	◇生徒理解のための研修会（指導主事または外部講師招聘）
８	２／１７	水	◇全体研究会・今年度の研究のまとめ及び次年度の研究について

６月末までに
授業者の選定
指導案検討開始

第4回校内研までに
指導案素案完成

R８年度　市川中学校校内研究のイメージ

〇山梨県が目指す教育Ⅰ　未来を生きる子供に必要な力を育む教育の推進
・基本方針　子供主体の授業への教育観の転換
〇市川三郷町学校教育指導重点（２）「確かな学力」を育む指導と評価に努めます。
・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につとめます。
〇市川三郷町学校教育指導重点（３）「豊かな心」を育む指導と、「生徒指導」の充実に務めます。
・教育活動全般を通じて、豊かな人間性を養い、道徳的実践力を高め、主体的に行動する力と、相手への敬意をもつ心の育成に努めます。

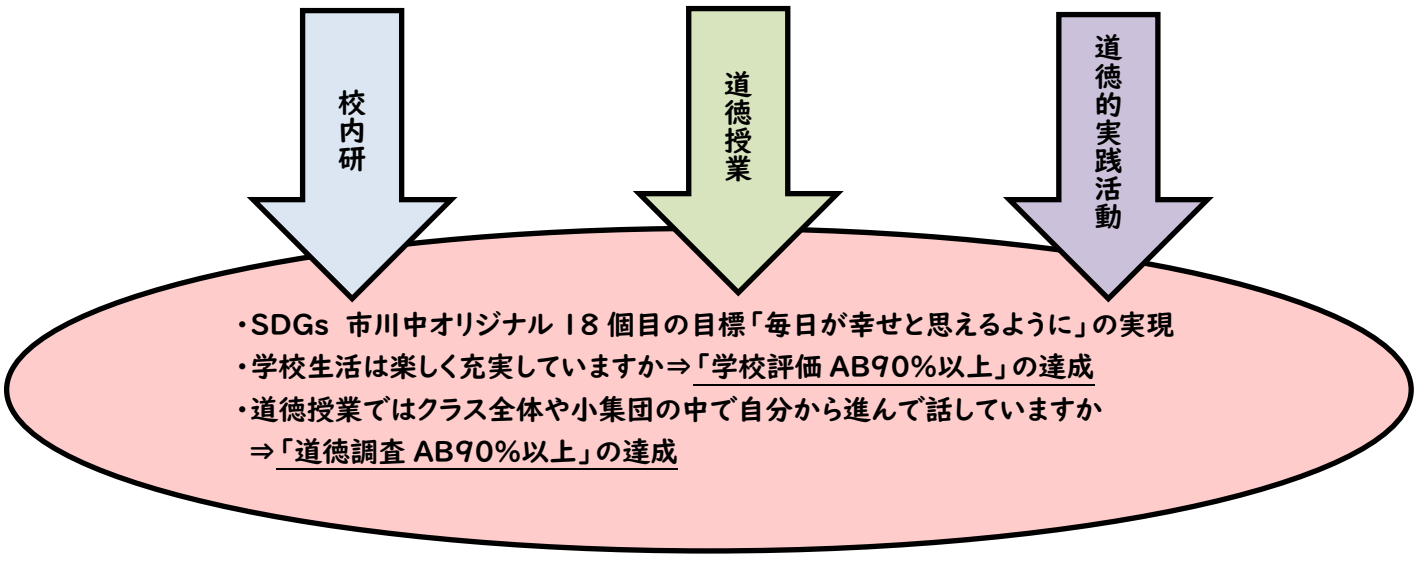
学校教育目標：知・徳・体の調和のとれた「たくましい生徒」の育成

スクール・モットー　「敬愛」自他の幸せのために行動できる学校

～めざす学校像～
１．学ぶことが楽しい学校
２．活気があり、笑顔のあふれる学校
３．地域が応援し、保護者が信頼する学校

～めざす生徒像～
１．主体的に学び、対話し、考えを深める生徒（知）
２．想像力豊かで、他者を認め敬う生徒（徳）
３．心身の健康に努め自己管理をする生徒（体）

研究主題

主体的・対話的な学びを通した楽しいと感じる学校づくり

～自分事として捉え、意見交流を深める道徳の実践～